

問一

傍線部①②の語句の本文中における意味として適切なものを一つずつ選べ。(各三点 計六点)

- ①はかばかしき 一、愚かな 二、よくない 三、順調な 四、しっかりしている 五、見苦しい

はかばかし ↑重要単語!

- ①はきはきしている ②しっかりしている ③本格的だ

四の「しっかりしている」が適当!

【答え 四】

- ①ことよくなる 一、専用の 二、ふさわしい 三、風変わりな 四、重要な 五、由緒正しい

「ことよなり」 ↑重要単語!

「異様なり」と書く

様子が他と異なっている。風変わりな

三が適当!

【答え 三】

問二

傍線部⑦は、俊頼があることを伝えるために用いた例えである。その内容を説明した次の空欄を埋めよ。

「あなたが言うように、私は（あ）が苦手であるから、（い）が上手であってもよいではないか」

(各五点 計十点)

これは、前半部分の「現代語訳↓場面の想像」が必要

注(1)もとじ

注(2)としより

注(3)もんまう

注(4)

基俊は俊頼をば蚊虻の人とて、『さは言ふとも、駒の道行くにてこそあらめ』と言は

注(5)よみとき

あさつな

注(6)みつね

つらゆき

れければ、俊頼は返り聞きて、『文時・朝綱詠みたる秀歌なし。躬恒・貫之作りたる秀句

なし』とぞのたまひける」。

・基俊は、俊頼を次のように評価して言った。

・蚊虻の人（＝漢詩に暗い人）である

・「そうは言っても（俊頼は、和歌が上手だと言われているが）、しよせん駒の道（＝老いた馬がよく道を知っているように、俊頼は過去の経験から和歌を詠んでいるに過ぎない）であろう」

・『漢詩の得意な人（＝文時・朝綱）は、和歌を上手に詠めない。和歌が上手な人（＝躬恒・貫之）は、漢詩が上手でない』と、いうではないか

さあ、ここで、空欄を考えよう

「あなたが言うように、私は（あ）が苦手であるから、（い）が上手であってもよいではないか」

（あ）であるが、「蚊虻」から、「漢詩」が苦手と言われたことがわかる！したがって、（あ）は「漢詩」である！

次に（い）であるが、これは書いていないから考えなければならない。  
そこで、俊頼が言った「たとえ」の中からヒントを見つけ出そう。

「漢詩が得意な人は、和歌が旨くない。和歌が得意な人は漢詩が得意でない」

…ここから発想しよう！

「漢詩の腕」と「和歌の腕」は比例しないことを例えているのであるから、ここは…

「私は、あなたの言うように漢詩が苦手であるが、だからと言って和歌が苦手、とは言い切れない。  
したがって、和歌が得意であつてもよいであろう」

ということを伝えたかったものと推察できる！

よって、（い）の答えは「和歌」である！

【 答え （あ） 漢詩 （い） 和歌 】

問三 傍線部①を現代語訳せよ。（八点）

明けぬともなほ秋風のおとづれて

現代語訳問題と文法問題の融合問題である。

ポイントは二点！

①「ぬ」の識別

②「なほ」の訳

まず「ぬ」の識別をしてみよう

①打消し助動詞「ず」の連体形

②完了助動詞「ぬ」の終止形

が、考えられる。意味が全く逆であるから要注意だ！

識別には、直前の動詞「明け」で、見分けるのが早い。

①（打消し）なら「未然形」

②（完了）なら「連用形」

であるが、残念ながら「明く」は下二段のため、未然・連用の形が一緒！

したがって「明け」では識別不能！

次に直後の「とも」から、識別を考えよう

「とも」は現代語では…「くとしても」と同じ

「寝る」を「としても」につなげてみよう。

「寝るとしても」と、「終止形」で接続しているのがわかる！

ここは、それを応用し、「ぬ」が終止形である、と判断しよう！

よって、「明けぬ」の「ぬ」は完了！

「明けない」ではなく、「明けてしまった」と訳するのが妥当である！

次に「なほ」の意味

これは「重要単語」

「やはり」と訳そう！

【答え】(秋が)明けてしまったとしても(冬になったとしても)、それでもやはり秋風は訪れできて

採点基準

「ぬ」が完了で訳せていて四点

「なほ」の訳ができていて四点

減点事項：まとまった意味の通る日本語になっているかどうか、二点を最高に減点する。

#### 問四

傍線部⑨を、内容を具体的に現代語訳せよ。(九点)

これを『さよ』と心得て、

まず、非常に短い、この「さよ」自体を分析しなければならない。

「さよ」は「さるよ」や「さあるよ」と考えられる。

つまり「そうであるよ」と解釈するのがよい。

「では、「そう」とは何を指しているのか、考えてみよう。

本文の以下の部分を要約してみよう。

またいはいく「注⑩雲居寺の聖のもとにて、秋の暮れの心を、俊頼朝臣、

明けぬともなほ秋風のおとづれて野辺のけしきよ面がはりすな

名を隠したりけれど、これを『さよ』と心得て、基俊挑む人にて、難じていはく、

・また、(ある人が)次のように話した

・「雲居寺の僧が催した歌合せの会があった。

・俊頼は、秋の暮れの心について、次のように歌った。

「明けぬとも…」

・俊頼は、名を隠した(「この歌を詠んだのは私である、ということを隠した)

・が、基俊は、これを「そうであるよ」と理解して、非難して次のように言った

と、こんな感じだ。

「俊頼が、名を隠して読んだ」↓「基俊は『そうであるよ』と理解した」

これでおおよそ理解できたのではないか。

基俊が、「俊頼が詠んだ歌であるよ」とネタバレした、ということであろう！

【答え】(この歌は)俊頼が詠んだ歌であるよ

採点基準

- ・「俊頼」の語句があつて四点
- ・「(俊頼が) 詠んだ歌である」が書けていて五点
- ・減点事項: まとまった意味の通る日本語になっているかどうか、  
二点を最高に減点する

問五

傍線部⑤について、その理由を六十字程度で説明せよ。(十三点)

文字数制限のある記述問題 (三十字以上など。十字や二十字など短いものは除く) の必勝法!

平均点がとても低い難問中の難問!

ただし、やり方を学び、練習を重ねれば、毎回高得点も可能!

ダメなやり方

×本文を訳しながら回答欄を埋める: 絶対ダメ!  
なぜ?

- ・何度も書き直し、時間がかかる
- ・文字数がなかなか合わない
- ・回答がズレていく
- ・よくわからない日本語になりがち

正しいやり方

やり方は超簡単!

- ・答えになりそうな箇所の訳を「簡条書き」で書く
- ・簡条書きは、超適当、超簡単でよい(↓回答を作成するときに、必要ならそこだけ丁寧に訳し直せばよいから)。簡条書きは1〜2分で。

・簡条書きの中から、回答に使えるような箇所をピックアップして:

- ①文字数に合うように
  - ②正確な回答になるように
- うまくまとめればよい。特に②がポイントね!書きながらよくズレていくから…

では、やってみよう!

色真青になりて、ものも言はずうつぶきたりける

この理由を考える

四行目以降の要約でよさそうだ

- ・雲居寺の僧が催した歌会で、俊頼は歌を詠んだ
- ・「明けぬともなほ秋風のおとずれて…」
- ・基俊は、痛烈に非難した
- ・「三句の末に『て』文字を置く歌はろくでもない歌だ。
- ・つかえて読みにくくてしょうがない」
- ・俊頼は反論しなかった
- ・伊勢の琳賢という坊さんがしゃしゃって来て言った。
- ・「一風変わった証歌(=俊頼さんの詠んだ歌が素晴らしいものであることを証明する歌)があるけど、

聞いてみる？」

- ・基俊は自信満々に「ほう、聞いたろやないかい。どうせしようもない歌に決まってるやろ」
- ・そこで琳賢は、紀貫之の歌を詠んだ
- ・「桜散る木の下風は寒からで」
- ・基俊は、紀貫之の素晴らしい歌にも、三句の末に「て（||で）」文字がある作品があるのを知って、真っ青になった。

さあ、できるよね

【答え 基俊は俊頼の歌を見て、三句の末にて文字を据えた和歌にろくな歌はない、と批判したが、紀貫之の証歌を披露され、愕然としたから。】

採点基準

- ・「基俊が俊頼の歌を非難した」ことが書かれていて二点
- ・「三句の末にて文字を据えた和歌はよい歌ではない」という非難の内容が書かれていて三点
- ・紀貫之の証歌を見せられたことが書かれていて三点
- ・「愕然とした」「自分の誤りを見せつけられた」などが書かれていて三点
- ・「くから」など、理由を示す表現ができていて二点
- ・減点事項：まとまった意味の通る日本語になっていないかどうか、三点を最高に減点する。句読点の使い方でも減点事項に
- ・句読点があまりに少なく読みにくい場合は二点減点
- ・文字数について：五十字以下、七十三字以上は×
- 六十八〜七十二字は減点二点

## 問六

本文は「無名抄」の抜粋である。当作品と作者が同じ作品を一つ選べ。（四点）

- 一、徒然草      二、奥の細道      三、落窪物語      四、方丈記      五、枕草子

### 作品知識問題

全統模試は必ず出るからチェックしておこう！

「無名抄」は「鴨長明」の「歌論」である。

この中で鴨長明の作品は、四、方丈記である

- 一、徒然草は「吉田兼好」  
二は松尾芭蕉      三は作者不明、五は清少納言

## 【答え 四】

### 作品知識の勉強の仕方

・共テでは出題されない

・センター試験でも近年出たことはなかった（ずっと昔は知らない）

・ただし、今後はわからない。可能性はある！（「総合力」を問うているから）

・私立入試ではよく出題される（過去問を見ておこう）

- ・ジャンルごと、年代別など、横軸・縦軸に分けて暗記する
- ・語呂合わせ暗記が最も有効!
- ・ネットで「古文作品 覚え方」「ジャンル別 暗記」「語呂合わせ」など検索すればゴロゴロ出てくるから、気に入ったものを探し、利用しよう。
- ・勉強のタイミングは:「ときどき」でよい
- ・週末の1時間、とか
- ・紙に書いて壁に張り、寝る前にチラ見する、とか
- ・私立によっては「十問」くらい出すところもある!
- ・その場合は配点も高いから、狙っている大学の過去問は早めに見ておこう!
- ・狙っている大学の過去問になくても:
  - ・ 今後は共テで出るかも
  - ・ 私立大はどこを受けるか、直前までわからないから
  - ・ 今後の模試で出るから
- ・軽くチェックはしておこう